

科目名 (科目番号)	病態解析演習Ⅱ (102112)	教員名	臨床検査 学科教員	学科等	臨床検査	必修	履修年次	4
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
				オフィスアワー		各担当教員シラバス参照		
授業概要	学内実習と臨地実習で習得した知識を総括・整理する。実習で習得した数値、画像、形態などより、検査結果と病態との関係を明確にする。また、異常検査結果、偽陽性、偽陰性の発生する要因となる因子を解析し、より正確な検査結果が得られるための必要条件などについて検証させる。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	血液疾患の症例検討－1(吉田)	到達目標:症例ごとの解析経過・結果・考察をすることができる 学習内容:血液疾患の症例について学修する。					
	2	血液疾患の症例検討－2(吉田)	到達目標:症例ごとの解析経過・結果・考察をすることができる 学習内容:血液疾患の症例について学修する。					
	3	再検査基準の検討(稲田)	到達目標:再検査(再測定・確認試験等)の必要性を判断できる。 学習内容:病態を踏まえた検査データの妥当性判断の方法について理解を深める。					
	4	基準範囲・病態識別値(稲田)	到達目標:具体的な数値例を元に、基準範囲やカットオフ値を設定できる。 学習内容:基準範囲や特定の疾患に対するカットオフ値の設定法を復習する。					
	5	感染症の症例検討－1(藤田)	到達目標:症例ごとの解析経過を理解して、診断・予後の予想ができる。 学習内容:感染症症例について免疫検査によりアプローチする方法を学ぶ。					
	6	リンパ系腫瘍の症例検討－2(藤田)	到達目標:症例ごとの経過と解析を理解して、診断・予後の予想ができる。 学習内容:リンパ系腫瘍症例について免疫検査によりアプローチする方法を学ぶ。					
	7	院内感染の解釈と症例検討(鴻巣)	到達目標:院内感染の特徴・分離・同定・検査法・薬剤耐性などについて理解する。 学習内容:院内感染症の症例について学習する。					
	8	市中肺炎の解釈と症例検討(鴻巣)	到達目標:市中肺炎の特徴・分離・同定・検査法・薬剤耐性などについて理解する。 学習内容:肺炎球菌、マイコプラズマによる症例について学習する。					
	9	病理検査等のデータをもとにした症例の検討－1(當銘)	到達目標:各種症例を病理検査結果からアプローチする病態解析法を身につける。 学習内容:各種症例を病理検査結果からアプローチする病態解析法を学習する。					
	10	病理検査等のデータをもとにした症例の検討－2(當銘)	到達目標:各種症例を病理検査結果からアプローチする病態解析法を身につける。 学習内容:各種症例を病理検査結果からアプローチする病態解析法を学習する。					
	11	臨床化学と各種病態－1(難波)	到達目標:日常検査で極端な異常値を認めたとき、それが正しい結果であるか否かを解析することができる。 学習内容:極端な異常値を示した症例1・2について、その解析方法を学習する。					
	12	臨床化学と各種病態－2(難波)	到達目標:日常検査で極端な異常値を認めたとき、それが正しい結果であるか否かを解析することができる。 学習内容:極端な異常値を示した症例3・4について、その解析方法を学習する。					
	13	生理機能検査等のデータをもとにした症例検討－1(河西)	到達目標:検査結果と病態との関連を解析・考察し、症例の病態生理を理解する。 学習内容:生理機能検査結果から症例の病態生理について学習する。					
	14	生理機能検査等のデータをもとにした症例検討－2(河西)	到達目標:検査結果と病態との関連を解析・考察し、症例の病態生理を理解する。 学習内容:生理機能検査結果から症例の病態生理について学習する。					
15	遺伝子検査の解釈と症例検討(伊藤)	到達目標:遺伝子検査を行う背景と疾患における特定の遺伝子の働きを理解し、データの結果の解釈・考察をすることができる。 学習内容:遺伝子検査の症例について学修する。						
成績評価の方法・基準	レポート(100%)							
教科書								
参考図書	適宜配布する。							
教員からのメッセージ	各授業でレポートの提出を課します。レポートは授業後にコメントを付けて返却します。昨年度の授業評価アンケート結果に基づく改善を施します。							